

平成28年度 浜松開誠館中学校・高等学校 学校評価

(目標と具体的な活動・取り組み)

教育方針	体罰といじめの根絶・笑顔が弾ける徳育の開誠館
重点目標	①K-compass・7つの習慣J・クエストエデュケーションに紐づいた実践・定着を伴う教育活動の実施
	②学習の基礎基本の定着・拡充と、主体的学び・協働性・表現力の向上を図る授業改善の取り組み
	③部活動や体育活動などを通して健全な心身と自主自立の精神の育成および基本的な生活習慣の確立
	④グローバル化が進む社会でたくましく生き抜く生徒の育成

評価項目	目標	具体的な活動・取り組み
徳育指導	誠心敬愛にのっとった教育で豊かな心を育てる。 生徒自ら未来を切り開く力を身に着ける	<ul style="list-style-type: none"> ・「Kコンパス」「7つの習慣J」「クエストエデュケーション」の授業によって、心を育てる教育を実践する。 ・外部講師による夢力講演会を開催する。
学習指導	生徒に基礎学力を定着させる。 生徒の判断力・表現力・思考力を養い、主体的に学習に取り組む姿勢を確立させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業の形」を徹底させる。 ・学習環境の整備を行う。 ・教員の授業参観や教科会議での討論を活発に行う。 ・教授方法を工夫(アクティブラーニングやICT機器の積極的な活用を含む)し、改善等に積極的に取り組む。
進路指導	中1から高3までの6年間を通して連携を図る。特に、高3では、進路相談を充実させ進路保証をする。 進路を現実的に捉えさせ、進路意識を向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・進路情報の収集・処理・発信を適切に行う。 ・学年教員との連携を図り、計画的・組織的な指導ができるように援助をする。 ・生徒の主体的な活動を援助できるように、進路室の充実を図る。
品格人格指導	浜松開誠館あいさつ基準を周知徹底する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員による朝のあいさつ習慣を実施する。 (教職員があいさつの手本となるよう促し実行) ・生徒・教職員へ開誠館あいさつ基準を提示する。 ・生徒課・学年・クラス担任・部活動顧問と連携する。
生徒指導	規律とマナーを重んじ、学校の基準で統一した生徒指導をさらに向上させる。 生徒の自治意識の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導方針の提示と生徒課日報発行による統一した指導を実践する。 ・頭髪・服装検査を実施する。(月1回) ・週1回の生徒課会合を開催する。 ・校内外の生活指導を充実させる。 ・委員会活動を活発化させる。 ・生徒会新聞の発行・挨拶運動など、季節に応じた雰囲気づくりを行う。 ・生徒の意見を傾聴し(意見箱)、よりよい学校生活へ導く。
保健安全管理	教育活動全体を通じて、相談しやすい雰囲気や環境を作る。 教職員と生徒による「いじめゼロ」の決意のもとに「いじめを許さない学校」を作る。 防災意識の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談的な考え方を生かした指導資料や実践事例を紹介する。 ・諸検査の活用や教職員間の情報共有により、多面的に生徒を理解し、全体や個に応じた指導に生かす。 ・いじめ防止対策基本方針に基づき、HR・生徒集会にて「いじめ撲滅宣言」、年2回いじめアンケート等の活動や指導を実践し、いじめ防止の考えや対処を周知させる。 ・ヘルメット、防災頭巾を常備する。また、年3回の避難訓練を実施し、防災意識を高める。
研修(資質向上)	若手教員と中堅教員が実践的な指導力を身に着ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業力向上のため、アクティブラーニングをはじめとした効果的な指導法を共有する。 ・学級経営力(生徒指導や進路指導)を高めるために、先輩教員の指導法を観察し、摂取できる環境を構築する。 ・中堅教員が学校の中核を担うに必要なスキルを得るための研修に積極的に参加する。
保護者・地域住民との連携	学校の様子をより広く知っていただき、信頼される学校を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者にはきづなネットを活用して、文化祭・体育大会・公開授業等の学校行事への参加を呼びかける。 ・地域住民の方々を学校行事に招待する。

(注)・評価表の見方

6月 学校の教育目標に基づいた評価項目の公表

10月 中間評価の公表(8月までの教育活動に対する中間評価)ABCDの4段階で示す。

3月 総合評価の公表(年間の教育活動に対する総合評価)ABCDの4段階で示す。

・評価者は、教職員、生徒、保護者、その他学校関係者による。(項目によりすべての評価者によらない場合がある)

・ABCDの基準は、肯定的な評価が75%以上をA、50%以上75%までをB、25%以上50%までをC、25%未満をDとする。